

令和5年度 第1回

高知市在宅医療・介護連携推進委員会  
資料

日時：令和5年6月29日（木）18：30～20：30

場所：本庁舎 6階 611・612・613

## 目次

1	高知市在宅医療・介護連携推進委員会名簿	・・・ P 1
2	高知市在宅医療・介護連携推進委員会設置要綱	・・・ P 2
3	令和4年度, 令和5年度 在宅医療・介護連携推進事業報告	
	高知市	・・・ P 5
	高知市在宅医療介護支援センター	・・・ P 15
4	各団体の取組紹介	・・・ 別紙
5	在宅看取りに関する取組	
	在宅看取りに関する経過時期別連携シート案	・・・ 別紙

### <別紙資料>

1. 委員提供資料
  - ・ 高知県訪問看護連絡協議会
  - ・ 一般社団法人高知がん患者支援推進協議会
2. 在宅看取りにおける経過時期別連携シート案

## 高知市在宅医療・介護連携推進委員会委員名簿

(令和5年2月1日～令和7年1月31日)

※安部委員は令和5年4月1日～

※井上委員は令和5年6月11日～

	所属	氏名
1	高知県立大学看護学部 教授	森下 安子
2	高知北在宅医療介護ネットワーク 委員長	公文 義浩
3	高知県医療ソーシャルワーカー協会 会員	中山 裕恵
4	高知県介護福祉士会 副会長	森本 俊介
5	公益社団法人高知県看護協会 専務理事	井上 美智子
6	一般社団法人高知県作業療法士会 会長	浅川 英則
7	高知県通所サービス事業所連絡協議会 会長	細川 忠
8	一般社団法人高知県訪問看護連絡協議会 会長	安岡 しずか
9	高知県ホームヘルパー連絡協議会 副会長	川田 麻衣子
10	公益社団法人高知県薬剤師会 理事	田中 繁樹
11	公益社団法人高知県理学療法士協会 副会長	小笠原 正
12	一般社団法人高知市医師会 理事	植田 一穂
13	一般社団法人高知市医師会 理事	藤井 貴章
14	高知市居宅介護支援事業所協議会 理事	大庭 憲史
15	一般社団法人高知市歯科医師会 理事	石黒 純子
16	一般社団法人高知がん患者支援推進協議会 理事	川澤 成子
17	高知市民生委員児童委員協議会連合会 副会長	藤崎 忠男
18	高知市在宅医療介護支援センター	藤原 里菜
19	高知市基幹型地域包括支援センター	安部 朋宏

高知市在宅医療・介護連携推進委員会設置要綱を次のように定める。

平成29年2月1日

高知市長 岡崎 誠也

#### 高知市在宅医療・介護連携推進委員会設置要綱

##### (設置)

第1条 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを希望するまで続けることができるよう、在宅医療及び介護を一体的に提供する体制を構築するための方策等を協議するため、高知市在宅医療・介護連携推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

##### (所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議を行うものとする。

- (1) 地域の医療機関、介護事業者等の情報の収集及び活用に関する事項
- (2) 在宅医療及び介護の連携に係る課題の抽出並びに対応策に関する事項
- (3) 在宅医療及び介護サービスの提供体制の構築の推進に関する事項
- (4) 医療・介護関係者の情報共有の支援に関する事項
- (5) 在宅医療及び介護の連携に関する相談の支援に関する事項
- (6) 医療・介護関係者の研修の実施に関する事項
- (7) 地域住民への在宅医療及び介護の連携に関する情報の普及啓発に関する事項
- (8) 在宅医療及び介護の連携に係る関係市町村との連携に関する事項
- (9) その他在宅医療及び介護の連携の推進のために市長が必要と認める事項

##### (組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱又は任命する委員20人以内をもって組織する。

- (1) 学識経験者
- (2) 保健、医療及び福祉関係団体の役職員
- (3) 市民
- (4) 行政関係者
- (5) その他市長が特に必要と認める者

##### (委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を行う。

##### (委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

##### (会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員会の会議において必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

##### (専門部会)

第7条 委員会の所掌事項について専門的に協議する必要があるときは、委員会に専門部会を置くことができる。

- 2 前条第2項の規定は、専門部会について準用する。
- 3 前項に規定するもののほか、専門部会の組織及び運営について必要な事項は、委員長が別に定める。  
(庶務)

第8条 委員会の庶務は、健康福祉部地域共生社会推進課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成29年2月1日から施行する。  
(会議の招集に関する特例)
- 2 この要綱の施行の日以後最初に開催される委員会の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年3月5日から施行し、この要綱による改正後の高知市在宅医療・介護連携推進委員会設置要綱の規定は、令和2年1月28日から適用する。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。



# 報告

(1) 令和4年度, 令和5年度 在宅医療・介護連携推進事業報告

・高知市

・高知市在宅医療介護支援センター

(2) 各団体の取組紹介

# 令和4年度

## 在宅医療・介護連携推進事業について

高知市 地域共生社会推進課



# 令和4年度 高知市在宅医療・介護連携推進事業

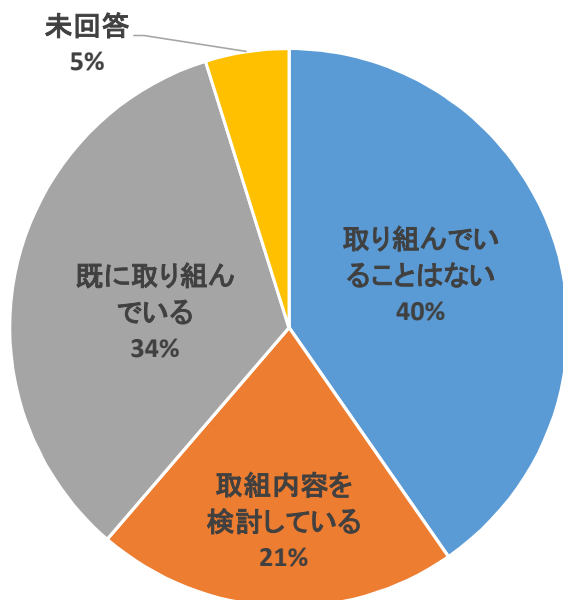
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
現状分析・課題抽出・施策立案(企画)	地域の医療・介護の資源の把握	センター委託・連携した業務の実施			
		高知くらしつながるネット(愛称「Licoネット」)の運用			
	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討		推進委員会の開催(7/21)	在宅看取りにおける経過時期別連携シートの検討	
	切れ目のない在宅医療と介護の連携体制の構築の推進	入退院時の引継ぎルール運用支援			★点検協議(3/22)
		★ルールの運用に関するアンケート調査結果報告(地域包括支援C4/19, 居宅協議会総会4/21)		★ルールの運用に関するアンケート調査(ケアマネジャー, 医療機関)	
		★医療機関窓口調査(5月)			
対応策の実施	在宅医療・介護連携に関する相談支援	センター委託・連携した業務の実施			
	地域住民への普及啓発	「出前講座」の実施(在宅医療介護支援センター実施)			
	医療・介護関係者の情報共有の支援, 知識の習得等のための研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援	高知くらしつながるネット(愛称「Licoネット」)の運用			
対応策の評価の実施, 改善の実施			推進委員会の開催(7/21)		

# ACPに関するアンケート調査結果【医療機関】

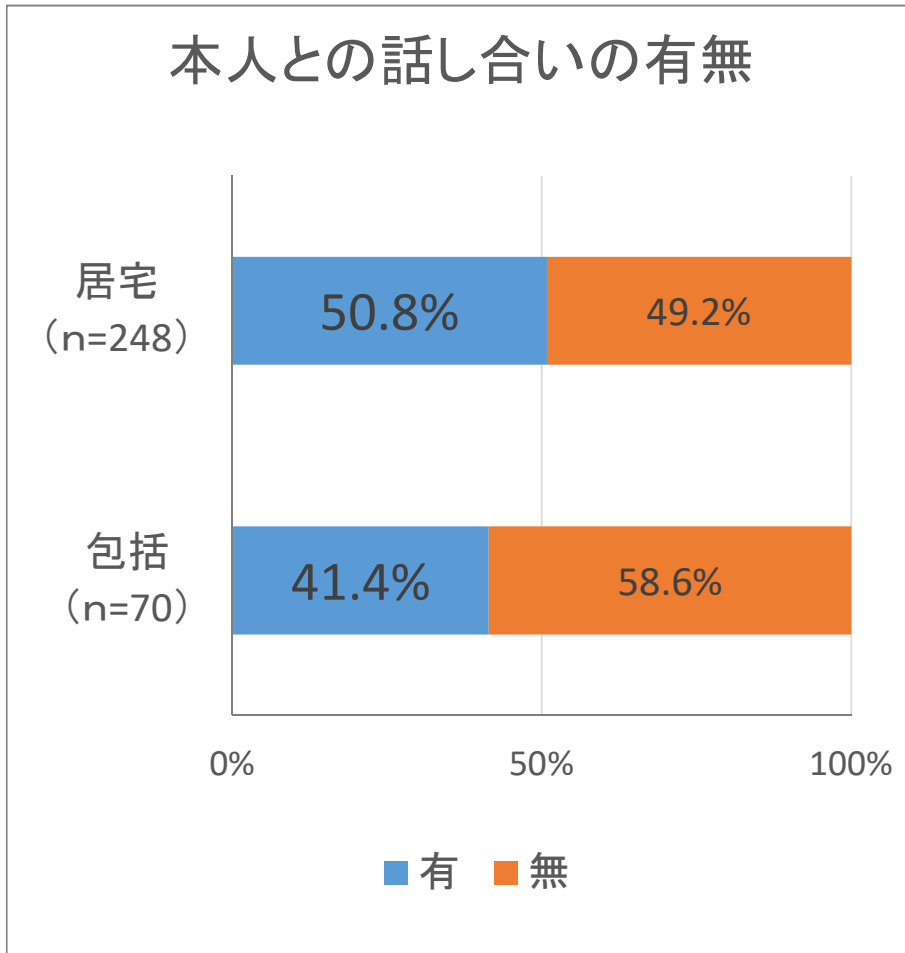
## 取組内容（要約）

- 研修会の開催
- 入院前や入院時，入院中など，本人や家族に意向確認を行う
- 患者・家族の意向や思いに沿った支援を行う
- 入院時に人生会議パンフレットを渡す
- 入院時に延命治療等について確認し，実際にそうなった時にも再度確認
- 意向を確認できる様式や質問紙の作成・活用
- ガイドラインや事前指定書の作成
- 多職種カンファレンス

## ACPに関する取組



# A C Pに関するアンケート調査結果【ケアマネジャー】



## 話し合ったきっかけ（要約）

### 【アセスメントやモニタリング等の支援の中で話し合う】

本人の意向や死生観の把握, 今後の生活について話し合う中で

### 【本人から相談】

本人の希望や今後の生活に対する不安などの相談

### 【家族からの相談】

### 【病気の判明や進行・病状の変化・悪化】

病気が見つかる, 癌の告知を受ける, 体調悪化等

### 【ターミナル】

### 【治療の開始や拒否, 入退院】

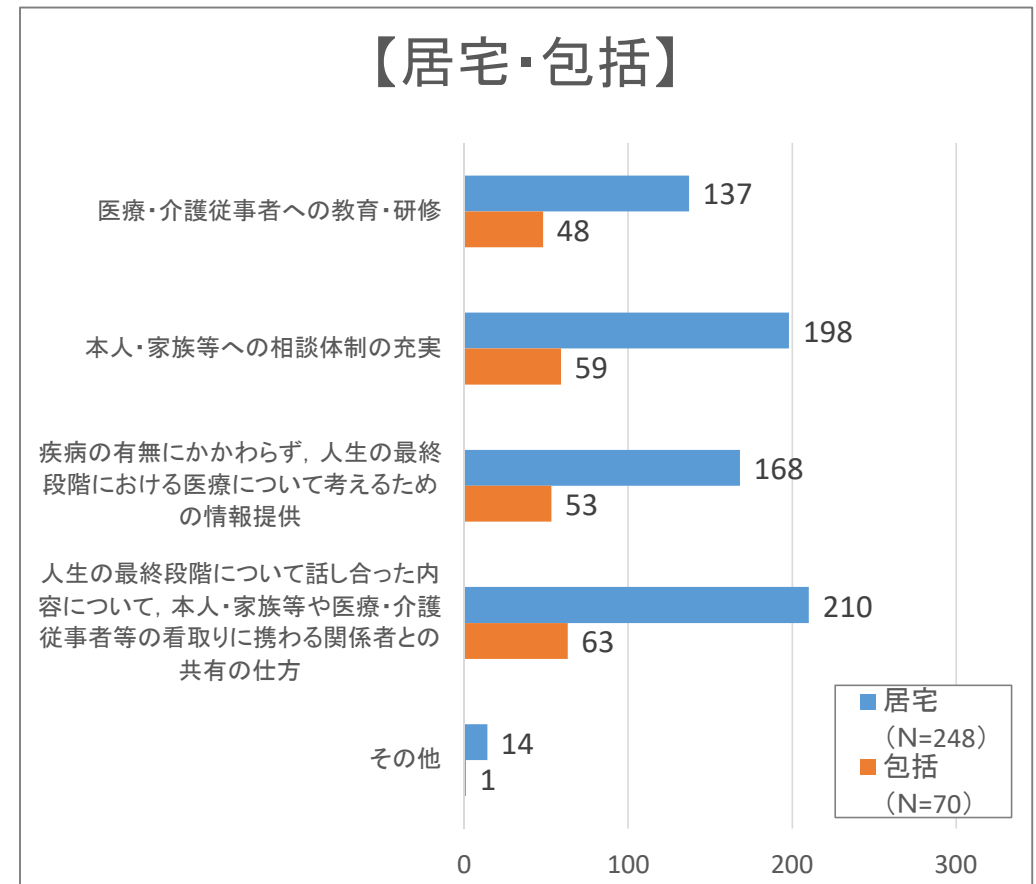
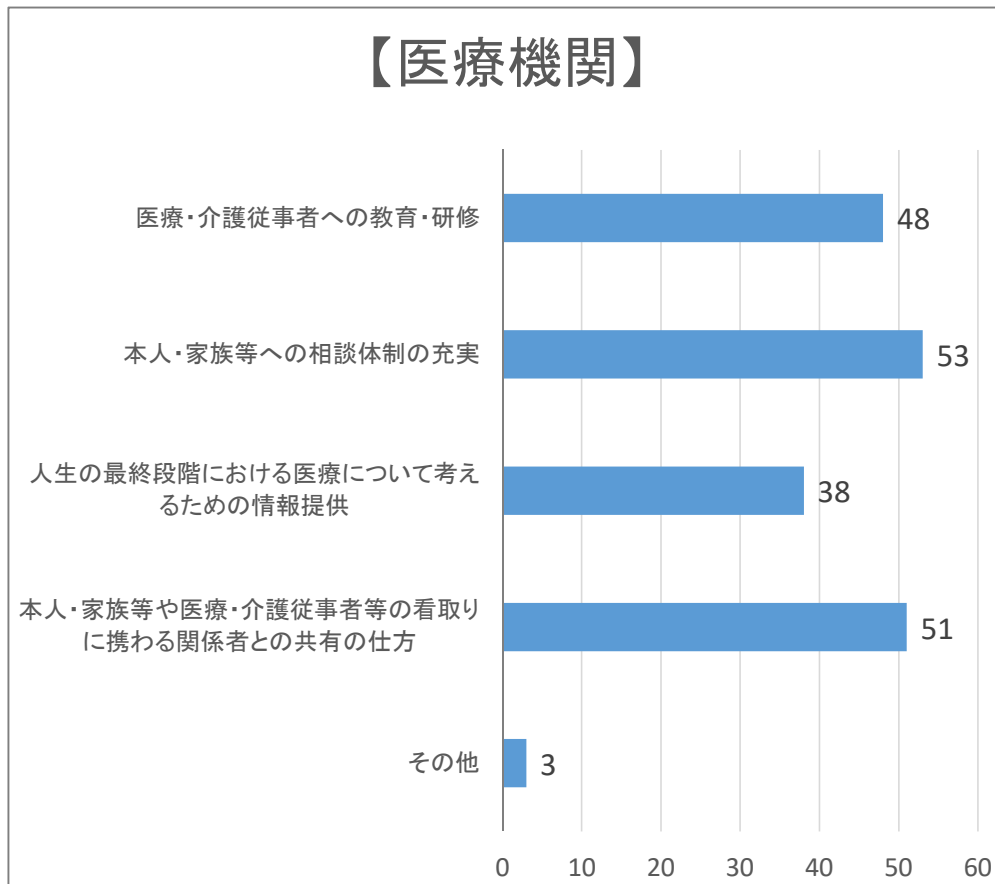
### 【主治医や訪問看護からの提案, 在宅医療サービスの調整】

### 【独居や身寄りがいない】

### 【その他】

主介護者の状況変化, 配偶者の死, 研修受講や在宅看取りの増加, 医療機関での話の続き等

# 本人の意向を尊重した人生の最終段階における医療の充実のために必要なこと

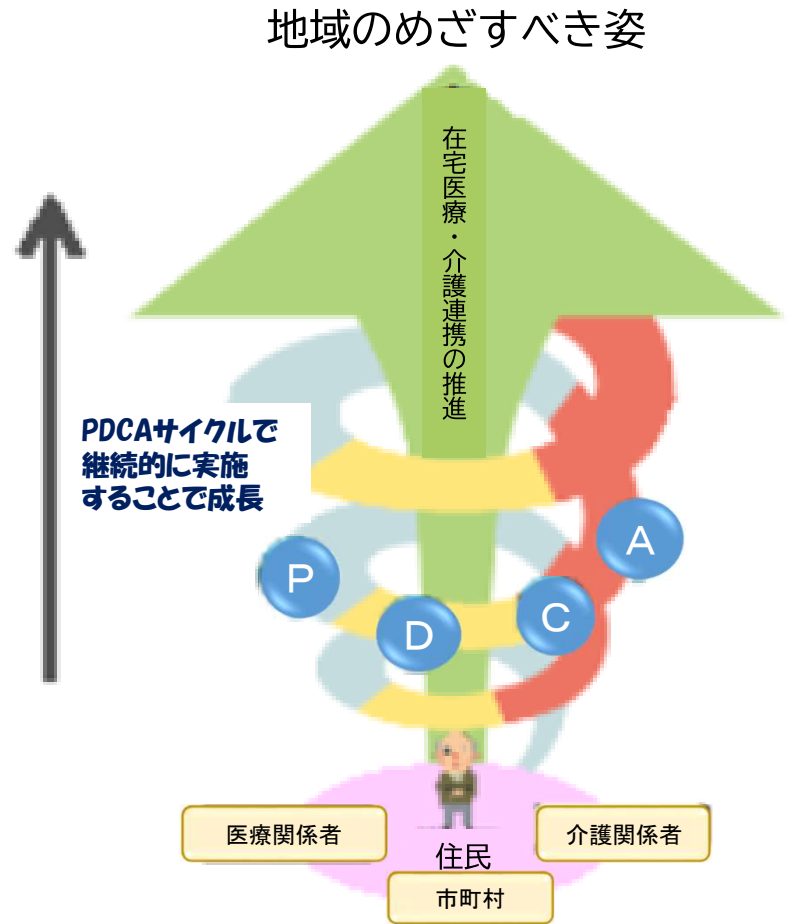
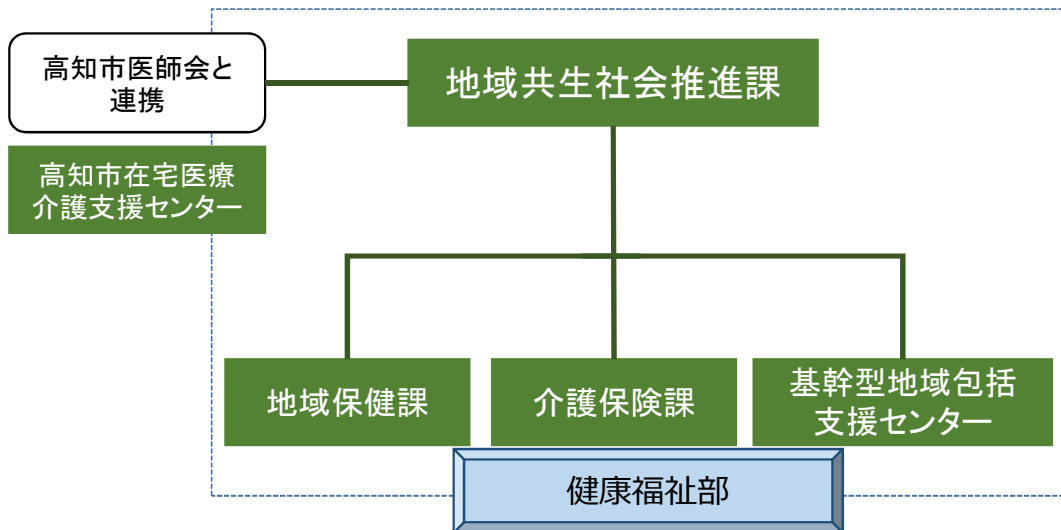


令和5年度

在宅医療・介護連携推進事業について

# 高知市における在宅医療・介護連携の推進体制

医療と介護の両方を必要とする要介護高齢者等が、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けていくことができる地域を目指して、医療と介護の連携を推進する。在宅医療及び介護を一体的に提供する体制を構築するための方策等を協議することを目的に、高知市在宅医療・介護連携推進委員会を設置している。  
 推進委員会で協議された方策等を実現するために、多職種多機関連携や、各関係機関での取組を推進委員会の委員の皆さんとともに、地域共生社会推進課をはじめとした関係課も取り組む。



# 令和5年度 高知市在宅医療・介護連携推進事業

現状分析・課題抽出・施策立案 (企画)	地域の医療・介護の資源の把握 【センター業務（高知市支援）】 【高知市業務】	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療機能の把握，可視化（センター業務）</li> <li>Licoネットの運用</li> </ul>	} センター業務
	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 【センター業務（高知市支援）】 【高知市業務】	<ul style="list-style-type: none"> <li>職種間連携に関する実態把握，課題抽出</li> <li>社会資源の情報収集（実態調査含む）・課題抽出</li> <li>高知市在宅医療・介護連携推進委員会，ワーキングの開催</li> </ul>	
	切れ目のない在宅医療と介護の連携体制の構築の推進 【高知市業務（センターと連携）】	<ul style="list-style-type: none"> <li>入・退院時の引継ぎルール（点検協議，アンケート調査等）</li> <li><u>職種間連携（CMと訪問看護，CMと地域連携室との交流会）（センター業務）</u></li> </ul>	
対応策の実施	在宅医療・介護連携に関する相談支援 【高知市医師会へ委託】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「高知市在宅医療介護支援センター」の運営</li> <li>「高知市在宅医療介護支援センター」のホームページ運用</li> </ul>	
	地域住民への普及啓発 【高知市業務（センターと連携）】	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座の実施（推進委員会委員所属の職能団体協力による）</li> <li>在宅生活（療養）支援リーフレットの活用</li> <li><u>在宅療養やACPに関する市民調査（高齢者保健福祉計画策定に合わせて）</u></li> </ul>	
	医療・介護関係者の情報共有の支援，知識の習得等のための研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 【高知市業務（センターと連携）】	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療介護に関する普及啓発 ⇒多職種連携研修会の開催</li> <li>Licoネットの運用</li> </ul>	
対応策の評価の実施，改善の実施 【高知市業務】		<ul style="list-style-type: none"> <li>高知市在宅医療・介護連携推進委員会の開催（年2回）</li> <li>高知市在宅医療・介護連携推進委員会ワーキングの開催（各テーマ年4回） ⇒テーマ：「市民啓発」「多職種連携」</li> </ul>	

※R2・3・4年度市民，CM，Hpアンケート等調査結果から把握した課題

①在宅での看取り，②市民への啓発，③専門職への啓発（ACP），④病状調査，⑤Licoネットの活用，⑥急変時の対応（救急隊との連携等）

# 令和5年度 高知市在宅医療・介護連携推進事業 スケジュール

		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
現状分析・課題抽出・施策立案(企画)	地域の医療・介護の資源の把握	センター委託・連携した業務の実施			
		高知くらしつなげるネット(愛称「Licoネット」)の運用			
	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	推進委員会の開催(6月) ★消防との意見交換	★「多職種連携」「市民啓発」WG開催 ★救急(医療機関救急外来や消防)との意見交換	★「多職種連携」「市民啓発」WG開催	推進委員会の開催(2月)
	切れ目のない在宅医療と介護の連携体制の構築の推進	入退院時の引継ぎルール運用支援			
		★ルールの運用に関するアンケート調査結果報告(基幹ケアプランC4/10, 11)地域包括支援C4/18, 居宅協議会総会4/20 ★医療機関窓口調査(5月)	★点検協議(7/7)	★CM対象アンケート ★医療機関対象アンケート	
対応策の実施	在宅医療・介護連携に関する相談支援	センター委託・連携した業務の実施			
	地域住民への普及啓発	「出前講座」の実施(在宅医療介護支援センター実施)			
		推進委員会委員所属の職能団体協力による「出前講座」の実施			
	医療・介護関係者の情報共有の支援, 知識の習得等のための研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援	高知くらしつなげるネット(愛称「Licoネット」)の運用			
					★多職種研修会(1月)
対応策の評価の実施, 改善の実施		推進委員会の開催(6/29)	★「多職種連携」「市民啓発」WG開催	★「多職種連携」「市民啓発」WG開催	推進委員会の開催(2月)



## 令和4年度電話相談概要

### 【相談機関：計19件】

- \*病院：2
- \*地域包括支援センター：5
- \*居宅介護支援事業所：10
- \*その他：2

### 【相談件数：計19件】

- \*退院調整：1
  - \*医療・介護サービスの情報提供：15
  - \*その他：3
- (※相談手段はすべて電話)

### 【まとめ】

- ・在宅生活を希望とする医療（在宅医の紹介など）に関する相談が微増傾向であった
- ・一年間通して一番相談内容が多かった医療、介護サービスの情報提供の際に、平成31年に作成した「医療ニーズが高い人の受け入れができる」居宅サービス事業ガイドの更新の問い合わせも多く聞かれた。
- ▶今年度「医療ニーズ～」と、「訪問診療・往診を行っている医療機関ガイド」の両ガイドの更新を予定しており、現在作成中である。早ければ秋ごろを目標に完成、配布を予定。

## 第1回 ケアマネジャーと地域医療連携室とのオンライン交流会

○開催日：令和4年12月5日(月)18:30~20:30

○参加者：99名(ケアマネジャー 35名・地域包括支援センター 24名・地域連携室 40名)

【地域連携室:急性期病院に加え在宅療養に関わる回復期リハ病棟・地域包括ケア病棟を有する計市内13病院の地域医療連携室が参加】

\*7グループ編成(居宅事業所:3~5、包括:1~2、病院:2の計13~15名/1G)

≪1回目:グループワークテーマ≫

「入院中に介護保険の申請が必要であると判断された方が退院を希望、もしくは退院が必要な状態となった。病状・ADL等、様々ではあるがその方の在宅生活が成り立つように支援や連携を行う中で、それぞれの立場での困りごとや問題点について」

≪2回目:グループワークテーマ≫※グループ変更

「退院後、病院が把握していた本人の状態の報告と、実際の状態の乖離を減らしていくためにお互いが行っていく取り組みについて。また、本人に会えない中、本人の望む生活や意向をいかに聞き出し、お互い共有していくかについて」

< まとめ >

日頃なかなか顔を合わせての連携が少なくなっていた中、今回の交流会で自己紹介や挨拶、有意義な意見交換が行え、顔の見える関係性の構築や今後の連携に向けて、お互いの立場の理解や共有ができ身近に感じられる良い機会となった。グループワークにより、より具体的に連携に関する課題や反省点が見えてきた。また、このような交流会を開催して欲しいとの声を数多くいただいた。

しかし、時間の制限もあり、今回の交流会では課題解決までには至らず、参加者に交流会終了後のアンケート調査のフィードバックに止まっているため、次回交流会開催時には、事前に双方の連携における問題点の聞き取り調査後グループワークのテーマの抽出を行い、交流会にて一定の課題解決策が見出すことができる事を目的としたい。

## 「よりよく生きるための人生会議」 研修会3回コース

- 開催日： <第1回> 令和4年10月1日(土) 14:00~16:00  
<第2回> 令和4年10月15日(土) 14:00~16:00  
<第3回> 令和4年10月29日(土) 14:00~16:00

### <第1回>

講演会： 「自分のための ACP の理解と実践」について

講師： 医療法人社団オレンジ オレンジホームケアクリニック 紅谷 浩之先生

- 参加者： 高知市北部市民 24 名 (会場)  
専門職 121名 (Zoom)  
(医師13名・看護師14名・介護支援専門員29名・保健師5名・  
管理栄養士4名・歯科衛生士1名・社会福祉士7名・理学療法士15名  
作業療法士2名・介護福祉士3名・その他28名)

### <第2回>

テーマ ~ 自分自身の ACP について考える ~

- 参加者： 高知市北部市民 15名、ファシリテーター 8名

北部の居宅支援事業所が事例発表を行った後、グループに分かれ、個人ワーク、ファシリテーターと共にグループワーク後、発表を行う。帰りに「知っちょいてノート」を配布し、次回までに家族や信頼できる方と実際に人生会議を行って、できればノートに記入していただくようお願いした。

<個人ワーク内容>

- ・ あなたが本当に希望する幕引きの場所はどこですか?その場所を選んだ理由は何ですか?
- ・ あなたが希望する幕引きの場所は叶うと思いますか?どうしてそう思いますか?

<グループワーク内容>

- ・ ACP をしたい相手を考える
- ・ あなたが人生の終盤で大切にしたいこと

### <第3回>

テーマ ~ 具体的な ACP の実践が出来るようになる ~

- 参加者： 高知市北部市民12名、ファシリテーター 8名(第2回に同じ)

第2回研修会開催時に介護保険サービスの概要や申請方法、施設入所の条件とその費用、ひとり暮らしで自宅療養をしたらどのようなサービスが受けられるのか?について知りたいとのご要望をいただいたので、説明。その後事例発表、グループワークを行い、発表を行う。また、「知っちょいてノート」の医療の部分についての説明を行った。

< グループワーク内容 >

- ・ 前回お願いしてあった「知っちょいてノート」の話し合いにくかった項目や、判断が難しかった項目について
- ・ 今回の研修会で学んだ事を基に今後も ACP を行うことができそうですか？

< まとめ >

研修会参加の皆さんからは大変勉強になったとご好評いただいたものの、高齢者にとってより良い終末期を迎えるために ACP が重要である事は理解できたが、普段の何気ない会話の中での意思表示や確認も行われていない事が現実であり、日々忙しい家族に対して遠慮があり、なかなか言い出しにくいという課題が浮き彫りとなった。

ACP について高齢者や専門職に向けて発信するだけでなく、子ども世代への周知を行い、その必要性の理解が得られなければ、また、子ども世代からの働きかけなくしては、実際の ACP の実践に繋げにくく、その事が ACP 普及の妨げにもなっているという事が今回の研修会を通して見えてきた。

次回からは2回コースとし、今後は高知市南部・東部・西部へと順次展開していく予定とし、また、課題解決の糸口として高齢者をはじめ、40～50代の子ども世代への普及も併せて実施する事とする。

## 第6回高知市在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会

～本人・家族に寄り添う多職種連携について～

○開催日：令和5年2月25日(土) 14:00～16:00 ※オンライン

○参加者：253名

医師 17名・歯科医師 4名・薬剤師 4名・看護師 71名・保健師 6名

ケアマネジャー 72名・社会福祉士・ソーシャルワーカー 37名

理学療法士 16名・作業療法士 4名・言語聴覚士 3名・管理栄養士 4名

介護福祉士 3名・その他(事務・教員・医学部生・看護大生等) 12名

**第1部**：<基調講演> 「多職種で行う在宅医療 ～亡くなるまで食べるためには?～」

講師：医療法人ゆうの森 理事長 たんぼクリニック 永井 康德 先生

- ▶実際の在宅医療の現場における ACP の取り組みや食支援の取り組み、最期を自宅で迎えることを希望する本人・家族に対する支援などが動画や漫画も交えて分かりやすくまとめられており、在宅療養における多職種での支援について大変良い学びが得られたと好評をいただいた。
- また永井先生より講演後のアンケートで質問があれば回答をいただけるとのことをお声をいただき、参加者から質問があがった人生会議の中でご家族の意見がまとまらない場合の対応や、身寄りのない認知症患者への看取りの事例についての返答を参加者にフィードバックし参加者全員で共有することができた。

**第2部**：<取り組み発表> ～「本人・家族に寄り添う多職種連携について」～

○山本 詩帆 (訪問看護ステーションちかもり：保健師)

○佐竹 枝里 (居宅介護支援事業所しもぢ：主任介護支援専門員)

○西川 まり子 (訪問看護ステーションおたすけまん：理学療法士)

○藤岡 芽生 (リハビリテーション病院すこやかな杜：地域連携室 ソーシャルワーカー)

- ▶4職種の専門職からの取り組み発表では、本人・家族に対する多職種での困難事例への支援・看取りまでの支援・ノーリフトでの支援・退院支援についてそれぞれ発表いただいた。
- 現場での日々の取り組みに対して、大変参考になった、日々の業務に活かしていきたいとの声を多数いただいた。

～まとめ～

当日のリアルタイム視聴の際には、音声の不具合により2度の動画停止を行うトラブルが発生し、大幅な時間超過となり、参加者に大変ご迷惑をおかけしてしまいましたが、アーカイブ配信については不具合や流出等もなく315回のご視聴をいただいた。

基調講演・事例発表共に具体的な内容で参考になる部分が多く、非常に良い研修会であったと参加していただいた様々な職種の方からお声を数多くいただいた。

令和5年度 高知市在宅医療介護支援センター業務月間計画

項目	事業目的	事業内容	具体的項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
日常の療養支援	(1)日常の療養支援のために医療・介護の関係者が互いの役割を理解し、連携できる	ア.センターの関係機関へのPRを行い、相談を受ける	▶地域包括支援センター・ケアマネジャーへのヒアリング	→													
			▶ケアマネブロック会参加	→													
			▶センター便り(医師会報等への掲載)		★				★					★			★
			▶SNS、HPを使った情報発信	→													
		イ.ケアマネジャーと医療関係者の交流ができる	▶ケアマネジャーと訪問看護ステーションの交流会(オンライン)														
		▶ケアマネジャーと地域連携室の交流会(対面予定)										★					
	ウ.医師に対してケアマネや訪問看護ステーションとの連携に関するアンケート調査の実施	▶アンケートの結果の分析、医師へのフィードバック															
		▶ケアマネ、訪問看護ステーションに対して課題の抽出し、伝達														★	
	エ.多職種が参加する研修会開催	▶第7回多職種連携研修会(対面) 【令和6年1月27日(土)】															
日常の療養支援	(2)在宅療養を行う上で必要な医療・介護資源が充足され、一人ひとりに応じた24時間の支援体制ができる	ア.在宅医療・介護等の医療資源・社会資源に関する情報収集と現状の把握・分析を行う	▶既存の医療資源の可視化 ・『訪問診療・往診を行っている医療機関ガイド-診療所・病院-』 ・『医療ニーズの高い人の受け入れができる 居宅サービス事業所ガイド』の令和5年度版作成														
			▶地域ケア会議・ケアマネ協議会・ケアマネブロック会等への定期的な参加	→													
			▶地域包括支援センターへのヒアリング	→													
入退院支援	(1)ケアマネジャーからの情報が医療機関の医療・ケアに活かされ、退院後も本人が希望する場所で不安なく生活ができる	ア.高知県立大学主催の入退院支援事業への参加	▶入退院支援事業参加														
		イ.在宅医療・介護の連携システムの構築支援	▶「入退院時の引継ぎルール」の点検協議事業への参加														
	(2)ケアマネジャーや医療機関が日頃から本人の思いや希望する生活を聞き取り退院調整時、協働して本人が望む生活を送ることができるように支援ができる	ア.ケアマネジャー・医療機関・訪問看護ステーション・地域包括支援センターなどに対して、日頃から本人の希望について十分聞き取っているか?実態を把握し分析	▶ケアマネジャー・医療機関・訪問看護ステーション・地域包括支援センターへのヒアリング														
看取り	(1)市民が「在宅療養」や「看取り」について意識し、イメージを持つことができる	ア.出前講座の実施	▶PRと実施 ▶知っちょいてノートのPR	→													
		イ.市民に対して看取りに関する継続的な学びの場をつくる。 【高知市医師会：南部地域ケアカンファレンスと合同開催】 ※1回目のみ	▶センター・外部講師による講演会(2回コース) ▶知っちょいてノートのPR														
	(2)日常の療養支援の様々な場面で支援者が、本人・家族の思いを聞き取り、人生の最終段階における意思決定支援ができる	ア.医療・介護関係者への外部講師による講演会(市民講演会と同時開催) 【高知市医師会：南部地域ケアカンファレンスと合同開催】 ※1回目のみ	▶企画と実施 ▶知っちょいてノートのPR														
その他	センター職員の能力向上 ・在宅医療・介護連携推進委員会、ワーキング参加 ・センター運営委員会の開催・他		▶研修会参加、自己研鑽	→													

# 協議

## テーマ「在宅看取りに関する取組」

- (1) 在宅看取りに関する経過時期別連携シート案
- (2) 関係機関や市民への啓発